

参政党小金井

Vol.133 所属議員 齋藤康夫



市議会議員・一級建築士

市議会会派「参政党小金井」会派レポート 令和6年 4月号
 発行 令和 6年 4月 1日
 小金井市本町6-3-3 (小金井市議会内) 連絡先042-382-0911
 Email:saitouyasuo@nifty.com

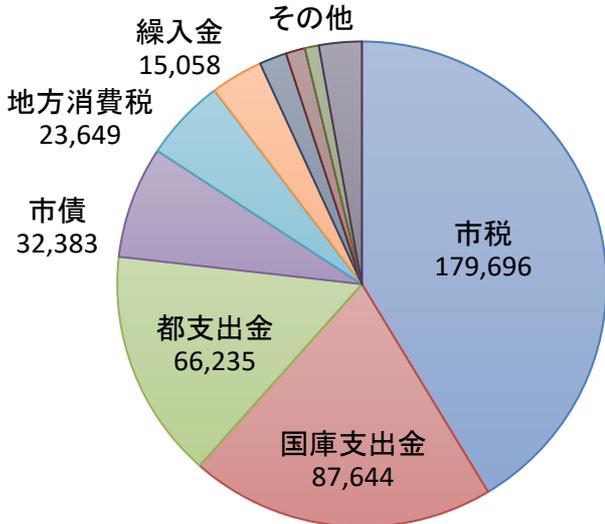
令和6年度小金井市 当初予算 総額809億912万円

一般会計当初予算541億3,200万円 過去最高額

	令和6年度	令和5年度	増減	増減率
	千円	千円	千円	%
一般会計	54,132,000	48,645,000	5,487,000	11.3
国民健康保険特別会計	11,594,578	10,970,062	624,516	5.7
介護保険特別会計	9,425,224	9,263,577	161,647	1.7
後期高齢者医療特別会計	3,251,913	3,036,315	215,598	7.1
下水道事業会計	2,505,410	2,515,420	△10,010	△0.4
合計	80,909,125	74,430,374	6,478,751	8.7

予算で500億超は初めて

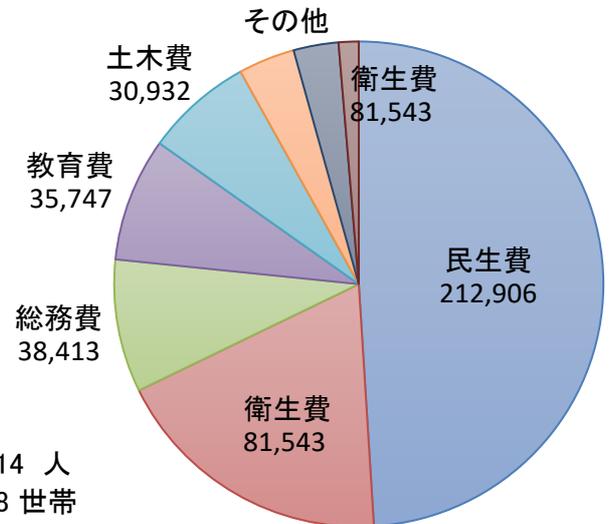
一般会計<歳入> 市民1人あたりの額



歳入

- 【市税】個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、たばこ税
- 【国・都支出金】社会福祉、児童福祉、補助金
- 【市債】衛生債(ごみ処理施設)、土木債、教育債
- 【地方消費税交付金】地方税法第72条の115

一般会計<歳出> 市民1人当たりの額



歳出

- 【民生費】障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護
- 【衛生費】保健衛生、感染症対策、予防接種、ごみ処理
- 【総務費】庁舎関連、会計管理、財産管理、市民施設
- 【教育費】小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費
- 【土木費】土木管理費、道路橋梁費、都市計画費、住宅費

人口 124,614 人
世帯 62,848 世帯

【生きる力、自ら学び考える力の育成】

厚生労働省の人口動態統計によると、10歳から39歳の死亡原因の第1位は自殺であり、男性に限っていえば44歳まで第1位である。

生きる希望を失う原因のひとつは、「自己肯定感」の稀薄性ではないか。学校教育には、これを防ぐ効果があると考え。学校教育をはじめとして家庭教育、社会教育で若者が生きる希望を持てる社会を創ることを目指して質問する。

戦後GHQの影響による歴史教育とマスコミの報道や映画・ドラマの放映による影響で、私は日本の存在を否定しかねない考えを植え付けられた。その結果、生まれた国が日本であることに悲観していた時期もあった。

若い方々が自ら命を失う時に私と同じ感情を持っていたのではないかと推測する。原因の全てではないが、ひとつの要素になっていると確信している。

小中学校の学習指導要領の前文に「4. 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。5. 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」とある。これを前面に打ち出すことができる教育を望む。

私が心配しているもうひとつは、日本の国柄が未来に持続可能であるかということである。

【質問】

①日本の伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するための教育はどのように行っているのか。児童生徒が生きる力を持つことができる学校教育は存在するのか。

②スポーツ選手、音楽家、大工など伝統技術継承者を招聘して児童生徒の前で披露することにより、鍛え上げられた人間の素晴らしさを体験させることによる「特色ある教育活動」を提案する。

【答弁:教育長】

齋藤議員のご意見はこれからの教育を見極める点で大変重要な視点と捉えております。

かつて大学の職場において国際交流の場で、海外の学生はその国の伝統文化を披露することができるのですが、日本の学生は大勢いてもそれができない。これは大きな教育問題だと実感した。どこに課題があるかわかり見極めていかなければならない。

教育計画において「学力の向上」という言葉ははずし、「確かな学力」という文言を使用している。

【危険自転車走行の取締りを強化すべき】

取締りを前面に出したくないが、最近の危険な自転車走行を見ると非常事態といえるので、緊急対策が必要といえる。

小金井街道や連雀通りを歩いていると、度々信号無視などの「交通違反」、たまに「危険運転」を目撃する。

レベル1:「マナー違反」歩道上で歩行者に配慮が足りない。ヘルメットを被らない。

レベル2:「交通違反」信号無視、無灯火、イヤホン走行、右側通行、スマホ操作。

レベル3:「危険運転」高速走行、斜め横断走行、一時停止を無視、見通しの悪い交差点での飛び出し、踏切遮断機無視、飲酒運転。

上記に分類してみた。子供を後ろに乗せた母親の交通違反も目撃したこともある。

警視庁の資料による、交通事故の「自転車関与率」グラフを下記に示す。半数近く関与していることに驚く。

また、損保会社による「自転車事故による高額賠償事例」では、9,000万円以上の賠償事例がある。目立つのは加害者が未成年、被害者が高齢者の比率が高いことである。

次の項目の取り組みを求める。

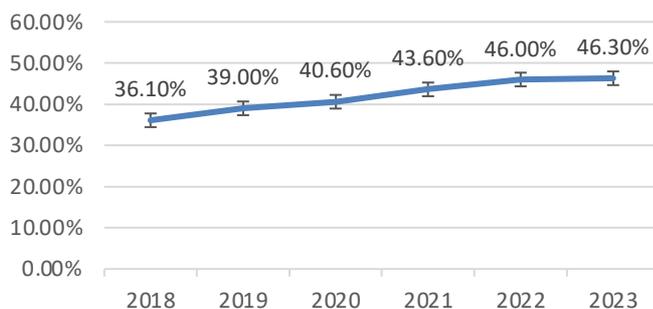
1. 緊急対策

- ア) 警察に取締り強化を依頼する
- イ) 市がパトロール要因を配置して注意喚起を行う
- ウ) 都条例による保険加入を推進する

2. 根本解決に向けて

- ア) 自転車に関する交通法規のパンフレット作製
- イ) 子どもへの教育・啓発の徹底
- ウ) 大人への教育・啓発の徹底
- エ) 自転車免許制度

自転車事故の関与率



皆様の声をお寄せください

- ・皆様の専門的な知識や豊かな経験、アイデア、発想をお寄せください。市政運営に反映いたします。
- ・地域の課題 道路 街灯 公園 街角ベンチのような身近な不具合・不便なことをお知らせください。